

多職種向け講演会アンケートの質問事項への回答

伊藤先生

- * 江東区以外の患者様の依頼を歯科医師会にしてもよいのか
→ 理事会を通して医師会、役所と相談してみてもはどうでしょうか。
- * 独居の方の場合、訪 NS さん、ケアマネさん、ヘルパーさんなどが立ち会われるのでしょうか
→ 他のメンバーの意見を伺った方がよいと思います。
ケアマネが立ち会うのが良いと思います。(小川先生)
- * 大学病院や他院から専門医を派遣した場合の、患者の費用負担（請求方法？）はどのようになりますか
→ 別途患者さんに請求するそうです。

福嶋先生

- * 訪問になる患者様はどのような心身状態のかたですか
→ 歩行困難などの身体的や認知症や鬱病などの精神的な理由で通院困難の方が訪問診療対象です。
- * 高齢認知症の方の歯石除去をどこまでやると良いという目安はありますか？訪問したら口腔内血まみれで止血に時間を要したことがあったので。
→ 歯石はすべて除去するのが理想ですが、意思疎通困難、身体的体力や拒否等の理由で困難な場合が多々あります。ゆっくり歯を一本ずつ歯石除去するか、継続的な口腔ケアでフォローすることも多いです。
歯肉からの大量の出血は、歯石による歯周病とバイアスピリンなどの薬の作用での増加も考えられますが、認知症の方は自身の歯磨き不足により口腔環境がかなり悪い事が多いので、まずは口腔ケアで口腔環境を整える事をお勧めします。恐らく、それだけで出血が少しずつ治まってくると思います。
それでも出血が全く治まらない、歯石が気になるのであれば、担当の訪問歯科にご相談下さい。
- * 美容歯科で「ホワイトニング」が流行っていますが、歯に悪い影響はないのでしょうか？
→ 担当歯科医の指示に従って正しく治療を行えば歯に悪い影響ありません。
- * 急ぎの依頼もご相談可能ですか？相談から初回訪問までのスピード感の目安など
→ 状況にもよりますが、可能です。
当院ではご依頼を受け、迅速にキーパーソンに連絡し、可能な直近の訪問診療日の予約時間を決めています。
江東区歯科医師会経由であれば、歯科医師会事務から地区担当地域医療委員へ連絡、依頼の方の近隣の訪問歯科可能な医院へ要請、受け入れ可能な歯科医院が対応となり

ます。

小川先生

*障がい（疾患）のある小児のフッ素塗布はどの程度有効性がありますか？

→むし歯への対応で 100%有効というものはありません。歯みがき、食事のコントロール（経口摂取をしている場合）、フッ素塗布など様々な方法でのむし歯予防が必要です。フッ素塗布は、診療室では 9,000ppm 位の高濃度のフッ素化合物を使いますが、在宅では、500ppm 位の濃度のフッ素を使っています。保険では、フッ素塗布は 3 か月に 1 回です。

浅野先生

*高齢者よりインプラントの相談を時々受けます。適応の年齢はいくつ位までですか？

→高齢者のインプラントについては、年齢的にいつまで可能かというよりも自分でメンテナンスができるかどうかが重要だと思います。自分でメンテナンスができない人には、おすすめてできません。持病の有無とか、総合的に判断しないといけないので、ケースバイケースではないでしょうか。

*日頃のお手入れなど薬局薬剤師から伝えられることがあれば教えていただければと思います。

→義歯ブラシや義歯洗浄剤、スポンジブラシや口腔ケア用ウェットティッシュ、吸引ブラシ、洗口剤などの便利な道具の紹介やカタログなどを配布してみたいかでしょうか。

*ヘッドレスト付きの車イスなく不安定かと心配あります。

→ヘッドレストはタオルや枕などで代用できることもあります。難しい場合は姿勢を正し、唾液や水分を誤嚥しないよう下を向いていただきながらケアをすると安心です。

*入歯が合わず治療を受けていても中々合わない利用者様もいて苦戦しています。義歯の使い方、口腔内が汚いのが原因だと思いますが、2 週に 1 回の NS の訪問で指導はしていますが…。

→歯科医師会に相談して入れ歯が得意な先生に訪問していただくのも良いかもしれません。

斉藤先生

*歯磨剤

研磨剤不使用なものが良いかと。

口腔内の汚れが気になるときは、デンタルフロス、歯間ブラシ等使用し、時間をかけて清掃してください。

*義歯について

義歯安定剤はなかなか除去が困難です。出来れば安定剤の使用は避けるべきですが、諸事情により使用せざる得ない場合があります。

義歯を使用する事によって、義歯に接する粘膜面の形態を変化（吸収）させます。

そこで義歯とそれに接する粘膜面に空隙が出来て、義歯が合わなくなってきます。
半年に1回、訪問診療で義歯の内面に新しく材料を足してもらえると良いでしょう。
また古くから使用している義歯は、義歯の使用材料の長年の疲労で、破損したばあいの
修繕や義歯内面の材料の追加が困難な場合があります。
その時は新規に作製して下さい。また義歯は4~5年は使用可能かと思えます。